

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2017/05/15
タイトル	那須塩原市立西小学校へ出前授業！
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 参事 星野 恵美子

平成29年4月24日（月）、那須塩原市立西小学校において出前授業を行いました。那須塩原市では、那須疏水の開削起工式が明治18年4月18日に烏ヶ森の丘で執り行われたのを記念し、毎年、開墾記念祭が開催されています。

那須野ヶ原は、栃木県の北東部に位置し、那珂川と箒川に挟まれた約40,000haの広大な複合扇状地です。扇状地特有の礫層が厚く堆積し、扇状地内の河川はほとんどが地面に潜り込んで伏流する水無し川となります。このような土地に移住して畑を下ろした先人達が、想像を絶するような貧困生活、苦悶の中で現在の水と緑の豊かな大地を切り拓いた偉業に感謝し、その開拓精神を後世に伝えることにより市の発展に寄与することを目的に開催されています。また、開拓の歴史を中心としたふるさとの歴史を学ぶ貴重な機会であり、郷土愛を育てる一助ともなっており、式典には、市内全小学生の6年生が参列しています。

西小学校では、開墾記念祭の一環として疏水を学ぼうと、一年生（50名）を対象に出前授業を行うにあたり、特定非営利活動法人 三区町地域資源・環境保全会の方と、当水土里ネット那須野ヶ原（那須野ヶ原土地改良区連合）へ依頼がありました。

当連合では、白百合女子大学プロジェクトとの連携により、土地改良事業に附帯する「水資源涵養林の育成」に関する啓蒙活動の一環として制作された、『絵本集 那須野ヶ原ものがたり』より、【水の旅】【お米の神様】【森のできごと】の3話の電子紙芝居を行いました。子供達は、真剣に聞いてくれて、3話が終わると「もっと見たい」という温かい嬉しい言葉をいただきました。質問では、たくさん手を挙げていただき「神様は本当にいることがわかりました。」「お米を残さないで食べようと思いました。」などの感想もありました。また、「お母さんは、カエルが嫌いです。」など、1年生らしい感想もあり、純粋で素直な子どもたちと40分という短い時間でしたが、楽しく授業ができました。

四年生に進級すると、更に那須疏水について勉強する機会がありますが、この電子紙芝居の事を思い出してくれることを願っています。



出前授業を受ける1年生



真剣に電子紙芝居を見えています！